



2026年11月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年7月14日

上場会社名 光フードサービス株式会社 上場取引所 東 名
コード番号 138A URL <http://hikari-food-service.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）大谷 光徳
問合せ先責任者 （役職名）常務取締役管理部長 （氏名）石田 央 TEL 052 (581) 8090
半期報告書提出予定日 2026年7月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年11月期第2四半期（中間期）の業績（2025年12月1日～2026年5月31日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年11月期中間期	1,632	14.6	180	36.4	178	38.3	137	55.0
2025年11月期中間期	1,425	12.4	132	△8.1	128	5.1	88	15.4

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年11月期中間期	138.12	—
2025年11月期中間期	89.09	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年11月期中間期	2,884	1,407	48.8
2025年11月期	2,652	1,310	49.4

（参考）自己資本 2026年11月期中間期 1,407百万円 2025年11月期 1,310百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年11月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2026年11月期	—	0.00	—	—	—
2026年11月期（予想）	—	—	—	48.00	48.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年11月期の業績予想（2025年12月1日～2026年11月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,200	11.8	242	7.5	238	7.7	127	24.0	128.08

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年11月期中間期	992,000株	2025年11月期	992,000株
② 期末自己株式数	2026年11月期中間期	一株	2025年11月期	一株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年11月期中間期	992,000株	2025年11月期中間期	992,000株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手について）

決算補足説明資料は、T D n e t で同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) キャッシュ・フローの状況	2
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間におけるわが国経済は、インバウンド需要のさらなる拡大や個人消費の底堅さを背景に、緩やかな回復基調が続いております。一方で、地政学リスクの長期化に加え、国内における人手不足の深刻化、高水準での賃金上昇及び物価高騰の影響により、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、原材料やエネルギー価格の高止まりが継続していることに加え、断続的な人件費の上昇や採用コストの増加が大きな負担となっており、未だ厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社では、ブランド認知拡大のため、各種媒体におけるIR活動への参加を心がけております。店舗では、各店舗考案による独自のイベント、限定メニューの提供等の施策を実施、継続してQSC（Quality Service Cleanliness）の向上にも取り組み、より多くのお客様に楽しんで頂けるような活動を継続しております。今年も5月に名古屋市にて開催された音楽フェス「FREEDOM NAGOYA2026」へ出店し、ブランド認知拡大と新たな人材採用へのアプローチをすることができました。

なお、当中間会計期間において新規フランチャイズ店1店舗を出店、直営店2店舗の退店を実施いたしました。当中間会計期間末現在における店舗数は67店舗（内フランチャイズ店17店舗）となりました。

以上の結果、当中間会計期間の売上高は1,632,572千円（前年同期比14.6%増）、営業利益は180,143千円（前年同期比36.4%増）、経常利益は178,019千円（前年同期比38.3%増）、中間純利益は137,016千円（前年同期比55.0%増）となりました。

当社は飲食事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

（2）当中間期の財政状態の概況

当中間会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ232,105千円増加し、2,884,622千円となりました。これは、流動資産が231,969千円増加し、1,864,457千円となったこと及び固定資産が135千円増加し、1,020,164千円となったことによるものであります。

流動資産の主な増加は、未収入金が12,002千円減少したものの、現金及び預金が209,156千円増加及び売掛金が31,024千円増加したこと等によるものであります。

固定資産の主な増加は、有形固定資産が58,098千円減少及びソフトウェアが1,954千円減少したものの、差入保証金が49,873千円増加及び繰延税金資産が11,067千円増加したこと等によるものであります。

負債については、前事業年度末に比べ134,768千円増加し、1,477,184千円となりました。これは、流動負債が51,153千円増加し704,826千円となったこと及び固定負債が83,615千円増加し772,358千円となったことによるものであります。

流動負債の主な増加は、1年内返済予定の長期借入金が14,351千円増加、未払金が7,373千円増加、未払費用が15,204千円増加及び未払消費税等が6,403千円増加したこと等によるものであります。

固定負債の主な増加は、新規借入及び約定返済により長期借入金が84,639千円増加したこと等によるものであります。

純資産については、配当金39,680千円の支払いをした一方で、中間純利益137,016千円の計上により利益剰余金が増加したことにより、1,407,437千円となりました。以上の結果、自己資本比率は、48.8%（前事業年度末は49.4%）となりました。

（3）キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前事業年度末に比べ209,156千円増加し、1,597,288千円となりました。

当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当中間会計期間の営業活動により増加した資金は210,791千円（前中間会計期間は166,521千円の増加）であります。これは、税引前中間純利益177,649千円の計上、減価償却費69,594千円及び未払消費税等の増加額6,403千円等による資金の増加が、法人税等の支払額43,291千円等の資金の減少を上回ったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当中間会計期間の投資活動により減少した資金は60,193千円（前中間会計期間は43,068千円の増加）であります。これは、有形固定資産の取得による支出4,711千円及び差入保証金の差入による支出52,406千円があったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当中間会計期間の財務活動により増加した資金は58,558千円（前中間会計期間は59,627千円の減少）であります。これは、長期借入れによる収入200,000千円の増加が、長期借入金の返済による支出101,010千円及び配当金の支払額39,628千円があったこと等の資金の減少を上回ったことによるものであります。

（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年11月期の業績予想につきましては、2026年1月14日に公表の「2025年11月期 決算短信」から変更はありません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年11月30日)	当中間会計期間 (2026年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,388,132	1,597,288
売掛金	127,397	158,421
商品及び製品	12,556	7,019
原材料及び貯蔵品	9,314	11,306
前払費用	52,400	57,149
未収入金	31,087	19,085
その他	11,598	14,185
流動資産合計	1,632,487	1,864,457
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	599,611	556,087
構築物（純額）	0	—
機械及び装置（純額）	124,499	112,631
工具、器具及び備品（純額）	27,877	24,168
車両運搬具（純額）	97	0
建設仮勘定	1,100	2,200
有形固定資産合計	753,185	695,086
無形固定資産		
商標権	1,856	1,756
ソフトウェア	10,808	8,853
無形固定資産合計	12,665	10,610
投資その他の資産		
差入保証金	125,992	175,865
長期前払費用	25,649	24,998
繰延税金資産	102,535	113,602
投資その他の資産合計	254,177	314,467
固定資産合計	1,020,028	1,020,164
資産合計	2,652,516	2,884,622

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年11月30日)	当中間会計期間 (2026年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	90,209	94,951
1年内返済予定の長期借入金	206,709	221,060
未払金	51,137	58,511
未払費用	160,866	176,071
未払法人税等	54,247	51,215
未払消費税等	40,617	47,021
預り金	28,790	33,681
契約負債	4,649	3,783
リース資産減損勘定	1,204	401
資産除去債務	2,803	9,523
株主優待引当金	—	1,658
店舗閉鎖損失引当金	5,711	1,176
その他	6,726	5,770
流動負債合計	653,672	704,826
固定負債		
長期借入金	624,052	708,691
資産除去債務	47,324	45,156
その他	17,366	18,511
固定負債合計	688,743	772,358
負債合計	1,342,416	1,477,184
純資産の部		
株主資本		
資本金	411,552	10,000
資本剰余金	391,552	793,104
利益剰余金	506,996	604,333
株主資本合計	1,310,100	1,407,437
純資産合計	1,310,100	1,407,437
負債純資産合計	2,652,516	2,884,622

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年5月31日)	当中間会計期間 (自 2025年12月1日 至 2026年5月31日)
売上高	1,425,105	1,632,572
売上原価	377,245	440,429
売上総利益	1,047,860	1,192,143
販売費及び一般管理費	915,831	1,012,000
営業利益	132,028	180,143
営業外収益		
受取利息	672	3,164
利子補給金	55	—
その他	354	327
営業外収益合計	1,082	3,492
営業外費用		
支払利息	4,187	5,349
その他	176	266
営業外費用合計	4,364	5,616
経常利益	128,745	178,019
特別損失		
固定資産除売却損	699	0
店舗閉鎖損失	984	—
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	370
特別損失合計	1,683	370
税引前中間純利益	127,061	177,649
法人税、住民税及び事業税	36,183	51,700
法人税等調整額	2,501	△11,067
法人税等合計	38,684	40,632
中間純利益	88,377	137,016

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年5月31日)	当中間会計期間 (自 2025年12月1日 至 2026年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	127,061	177,649
減価償却費	57,948	69,594
資産除去債務履行差額 (△は益)	△248	—
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	—	1,658
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	—	△4,534
受取利息及び受取配当金	△672	△3,164
支払利息	4,187	5,349
固定資産除売却損	699	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△25,698	△31,024
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△11,029	3,544
前払費用の増減額 (△は増加)	△2,299	△4,749
未収入金の増減額 (△は増加)	4,112	12,002
仕入債務の増減額 (△は減少)	10,207	4,742
未払金の増減額 (△は減少)	△9,636	7,052
未払費用の増減額 (△は減少)	4,404	15,204
未払法人税等 (外形標準課税) の増減額 (△は減少)	△6,368	△11,439
未払消費税等の増減額 (△は減少)	23,451	6,403
預り金の増減額 (△は減少)	3,518	4,891
契約負債の増減額 (△は減少)	624	△866
預り保証金の増減額 (△は減少)	1,000	1,620
その他	5,083	1,496
小計	186,348	255,430
利息及び配当金の受取額	569	3,164
利息の支払額	△3,284	△4,511
法人税等の支払額	△17,112	△43,291
営業活動によるキャッシュ・フロー	166,521	210,791
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△116,690	△4,711
有形固定資産の売却による収入	3,000	—
定期預金の払戻による収入	160,000	—
ソフトウェアの取得による支出	△1,656	—
長期前払費用の取得による支出	△1,371	△3,525
差入保証金の差入による支出	△2,915	△52,406
差入保証金の回収による収入	2,784	450
その他	△82	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	43,068	△60,193
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	67,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△86,212	△101,010
配当金の支払額	△39,612	△39,628
その他	△802	△802
財務活動によるキャッシュ・フロー	△59,627	58,558
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	149,962	209,156
現金及び現金同等物の期首残高	1,033,905	1,388,132
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,183,867	1,597,288

（4）中間財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

当社は、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。